事　務　連　絡
令和５年７月１４日

管内自動車運送事業者　各位

岩 手 運 輸 支 局

梅雨前線による大雨への対応について

気象庁によると梅雨前線が西日本から東日本付近に停滞し、西日本から東日本にかけての日本海側を中心に大雨となっている所があります。12 日(水)夜遅くには、石川県と富山県で線状降水帯が発生しました。前線は、14 日(金)はやや活動が弱まるが大気の不安定な状態は続く。15 日(土)から 16 日(日)頃にかけては、東北地方付近に停滞している前線に向かって暖かく湿った空気の流入が強まり、前線上に低気圧が発生するとともに、再び前線の活動が活発となる見込みです。

また、13 日は西日本から東日本にかけての日本海側を中心に局地的に非常に激しい雨が降り、14 日は東日本で局地的に激しい雨が降り、雷を伴って大雨となる所があります。さらに、15 日から 16 日頃にかけて、東日本や北日本では、東北地方を中心に大雨となるおそれがあります。

これにより、上記各地方において、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒するとともに、竜巻などの激しい突風や落雷、降ひょうに注意が必要です。

つきましては、下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

記

１．気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すこと
２．社内における連絡体制を確保すること
３．安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
４．車両の退避など出水への事前対応を実施すること